



防災情報について



情報を知るには

避難情報と住民がとるべき行動

災害が発生したり、発生の可能性が高まったりした場合、柳川市は避難情報を発令します。しかし、避難情報が発令されない状況でも、自らの判断で避難をすることもあり得ます。自分の安全は自分で確保する姿勢が重要です。

警戒レベルを理解して「いつ避難するか」を考え、行動しましょう。



警戒レベル4までに必ず避難！



※大雨警報などの気象情報が発表されても、市から避難情報が必ず発令されるものではありません。気象情報を参考にして、河川の水位や災害の危険度などをみて発令します。また、警戒レベルの順番で情報が出るとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が重要です。

洪水に関する河川情報と避難判断の目安となる水位

洪水に関する避難の情報は、下記の水位を目安としますが、気象状況等を総合的に判断し、市が発令します。「避難指示」などが発令されるときは、堤防決壊や越水の危険性が高まっていますので、すぐに避難しましょう。また、高齢者など避難に時間を必要とする人は、「高齢者等避難」が発令されたら避難してください。



情報の入手方法

災害時などの緊急時は、正確な情報をいち早く入手することが重要です。地域の気象情報や避難情報などは、さまざまな方法で確認できます。日頃から情報の入手方法を確認しておきましょう。

柳川市ホームページ 避難所などの開設状況や避難情報などを確認することができます。 [検索▶](#)



災害の発生時には避難所の開設や避難情報を発信します。事前にお友だち登録が必要です。



お友だち登録はこちらから

柳川市防災行政無線 災害の発生などで緊急の呼びかけが必要な場合に、市内に設置の屋外スピーカーから防災情報などをお知らせします。

個別受信機 ラジオ型の防災無線の受信機です。

テレビのデジタル放送 地デジ放送受信中にリモコンのd(データ)ボタンを押すと気象情報の閲覧ができます。また、KBC九州朝日放送のデータ放送(dボタン広報誌)は、市が情報発信を行っています。

携帯電話事業者（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル等）が無料で提供するサービスで、国や地方公共団体による災害・避難情報等を、回線混雑の影響なく、特定のエリア内の対応端末（携帯電話）に一斉に配信されるものです。

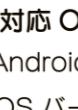
柳川市では、高齢者避難などの避難情報を発信します。

詳しくは、携帯電話事業者のホームページをご覧ください。

福岡県防災アプリ まもるくん 現在地の防災情報や避難情報などを簡単に入手できる福岡県の公式防災アプリです。

Google Play

App Store



【対応OS】
Androidバージョン8.0以降
iOSバージョン11.0以降

【利用料金】
無料 ※通信量等は別途かかります。

福岡県防災ホームページ 避難情報等の状況を、地図上で分かりやすくお知らせする他、避難所の混雑状況も分かりやすくお知らせします。 [検索▶](#)

福岡県総合防災情報ホームページ 雨量や河川の水位、ライブカメラを確認することができます。日向神ダムからの放流量などの状況も確認することができます。 [検索▶](#)

気象庁防災情報ホームページ 気象レーダーや雨量、台風、地震、津波など様々な気象情報を確認できます。「あなたの街の防災情報」では、見たい情報をカスタマイズして表示することもできます。詳しくは気象庁のホームページへ。 [検索▶](#)

国土交通省 川の防災情報 矢部川や筑後川の水位、ライブカメラの情報をリアルタイムに確認することができます。 [検索▶](#)

海の安全情報 海上保安庁 三池海上保安部 公式ウェブサイト 有明海の潮汐表などを見ることができます。 [検索▶](#)

九州電力送配電 株式会社ウェブサイト 停電情報を確認できます。 [検索▶](#)